

ユネスコエコパークを活用したSDGsを学ぶESD環境教育推進事業

活動地域  大分県



ESD自然体験活動：市民参加型生き物調査

課題

エコパークの理念、目的の啓発周知による意識変革を促し、MAB計画に基づく「環境・経済・文化」が統合的に機能した持続可能な社会の構築に向けた取組みが課題である。

目標

エコパークの理念・目的の認知と理解を地域住民に広く浸透させ、自然環境の保全と利用が両立した持続可能な地域社会の形成のための住民参加の協働体制の構築を目指す。



今後の展望

長く続いた新型コロナウイルス禍が明け、自粛生活の反動から多くの子どもたちの積極的な野外活動への参加が期待されることから、屋外活動の体験プログラムのレパトリーを増やし、魅力あるフィールドワークを提供する予定である。

ひろげる助成

2年目

実践

活動内容と成果

- ①森林生物圏：観察路(110m) ロープ柵(145m)を整備し、下草刈り(250m²) 下枝切り(300m²)を実施し、道路案内板(20基)、樹名板、説明板を設置した
- ②水域生物圏(活動拠点)：展示レクチャー施設(20m²)及びパイプ倉庫(25m²)を設置。下草刈り計3回(約600m²)、遊歩道、安全柵(100m)を整備し、河川敷300m²を整地した
- ③ESD体験プログラム及びESD教育研修：体験ツアーを9回(参加205人)実施。ESD教育研修は、4回(参加57人)開催、エコパークガイド等研修を3回(6人参加)実施



住民による大学生対象としたESD教育研修

研修学習スペース、
展示ブース設置 **20**㎡

安全柵、遊歩道整備 **100**m

今年度計画の達成度 **90**%

全体計画の達成度 **70**%

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

新型コロナウイルス感染症対策のため突然の中止や延期等、予測できない状況の中で活動。イベントの日程調整や連絡及び人員の手配、配置。

■工夫した点

地域住民を中心に活動スケジュールを組み、スタッフ会員・講師は、余裕をもって員数を準備しローテーションで活動調整を実施した。

〒870-0901
大分県大分市西新地
2丁目6番50号
ライオンズマンション大洲304
電話：097-529-5046
E-mail：kei_hi.uchida@yellow.plala.or.jp
HP：http://www9.plala.or.jp/kei_uchida/

